

おしえて！ 東通村のおしごと♪

東通村役場には沢山の課があり、沢山の人が働いています。しかし、普段過ごしていて「具体的にどんな仕事をしているんだろう……？」と疑問に思ったことはありませんか？

このコーナーでは、東通村役場に勤めている職員とその業務について紹介していきます。

企画課 企画グループ

主事 川口 暖乃さん 入庁3年目

「川口さんは現在どんなお仕事をされているのですか？」

東通村のファンを増やす仕事です。特に村外の方が村に愛着を持ち、村づくりへ関わってもらうことを目的に、地域おこし協力隊の受入れや大学生の農村体験等を実施しています。

人口減少が進む村では、地域の担い手不足により、その維持・活性化が困難になりつつあります。外部の方を受け入れることで、担い手不足解消や新しい視点を取り入れることなどが期待されるため、村のファンを増やすことが重要です。

「仕事をするうえで大事にしていることはなんですか？」

創意工夫です。まだまだ職員として専門性は低いですが、踏襲するだけでなく、新しい手法を考えてみることを大事にしています。

「村民の皆さんに伝えたいことはありますか？」

実は…「広報ひがしどおり」～村のできごと～に、しばしば登場する会見用パネルは、私がデザインしました。「ワ(私と輪)」と「繋がり」をテーマに、円形を配した水玉模様になりました。本紙にもパネルの掲載がありますので、探してみてくださいね。住民の皆さんが、紙面でこのパネルを見つけた時に「広報ひがしどおり」との繋がりを感じていただけたら嬉しいです。



住民課 住民グループ

主査 奥島 一典さん 入庁3年目

「奥島さんは現在どんなお仕事をされているのですか？」

窓口での業務がメインになりますが、住民票や各種証明書の交付、マイナンバーカード関連の業務、国民年金に関する業務、東通村斎場に関する業務等を担当しています。なかでもマイナンバーカードの業務ではたくさんの村民の方に申請していただいたので、窓口でたくさんの方と接することができました。

「現在の仕事のやりがいを教えてください」

34歳の時に入庁し3年目ですが、戸籍関係の業務ではまだまだわからないことも多くあり、日々勉強です。

住民課窓口にいると「担当の課はどこ？」とよく聞かれます。最初は周りに助けてもらってばかりでしたが、最近は自分でご案内できるようになってきました。迷った時など気軽に話しかけてください！

「今後の目標を教えてください！」

業務では、教えてもらったことをしっかり覚えて、吸収することが目標です。

プライベートでは学生の頃から続けているバレエボールをしています。40歳を目前にしてヒザの痛みと戦っています。小学校1年の息子もバレエをはじめましたし、4月からは娘もはじめる予定なので体をケアしながら出来る限り現役で続けていきたいと思っています。